

| | |
|----------|--------------------------|
| 対象 | 小学校中学年以上 |
| 教科 | 社会科 |
| 該当 単元 | 小学3年 「古い道具と 昔のくらし」 |
| 教科書 | 東京書籍等 |
| 掲載日 | 2017.7.8. 朝刊 尾張版 |



㊦折り畳み型のトイレトーパーと紙置きなど、昭和の家庭にさりげなくあった生活用品が並ぶ ㊧ガムの包装紙や牛乳瓶のふたなど、当時のごみまで展示している＝いずれも北名古屋市熊之庄の昭和日常博物館で



ぬれた手で触ると手が引っ付いてしまうアルミ製の製氷機や、ブ

資料としてあまり脚光を浴びてこなかった「昭和日常博物館」で始まった。九月十日まで。生活用品を集めた「昭和暮らしの端っこ展」同館は「当時のごみ箱の中身まで再現でき

昭和の暮らしそのまま 北名古屋 生活用品展示、ごみも

るレベル」を目指し、ごみも含めて収集。今回はその中から食品のパッケージや文房具など約七十種を展示している。

ラシ部分が約四割もある歯ブラシなど、今では見かけなくなった生活用品がずらり。ロール型のトイレトーパーが普及する前の四角い紙と、その紙置きもある。

市橋芳則館長(左)は「普段は思い出さない、昔の細かなことまで思い出してもらえば」と話している。(鈴木あや)

問1：上の写真の右下にいくつか置いてある四角いかごは何でしょう。記事を読んでもらって答えを考えましょう。

()

問2：写真をよく見ながら記事を読んでもらい、写真に出ていない「少し昔の道具」二つを書き出しましょう。

①()

②()

問3：写真のごみをよく見て、友達や家族と一緒に今のごみとの違いについて意見を交わしましょう。

